

平成 29 年 度

農事功績表彰者名簿

平成 29 年 11 月 15 日

公益社団法人

大日本農会

# 平成29年度（第101回）農事功績表彰者名簿

## 目 次

	受章者数	頁
<b>農 事 功 労 者</b>		
紫白綬有功章（国内）	2名	2
緑白綬有功章（国内）		
北海道・東北地域	11名	4
関東地域	10名	7
北陸地域	5名	10
東海地域	3名	12
近畿地域	6名	13
中国四国地域	5名	15
九州・沖縄地域	9名	17
緑白綬有功章（国外）	1名	20
緑白綬有功章 小計	50名	
計	52名	
<b>農 業 改 良 普 及 功 労 者</b>		
緑白綬有功章（国内）	4名	21
<b>農 業 技 術 開 発 功 労 者</b>		
緑白綬有功章（国内）	1名	22
名誉賞状（グループ）（国内）	1グループ	
<b>本 会 功 労 者</b>		
紫白綬有功章（国内）	3名	23
紅白綬有功章（国内）	5名	23
<b>合 計</b>		
	<b>66名</b>	
(内訳)		
紫白綬有功章	5名	
緑白綬有功章	55名	
紅白綬有功章	5名	
名誉賞状（グループ）	1グループ	

# 農 事 功 勞 者

## 紫白綬有功章（国内） 2名

氏 名	住 所	経 営 部 門	表 彰 事 由
もり わき 森 脇 みち なり 道 成 (75歳) 緑白綬有功章 平成19年度受章	北海道 紋別市	畜産部門	<p>1 昭和35年に畑作経営に就農し、土作りの堆肥確保のため乳牛を1、2頭飼養した。テンサイの直播栽培では、初期生育不良等に対応し、ペーパーポット移植の実証展示に取り組み、収量性向上が確認されて地域に普及した。昭和47年に牛舎を建設し、飼養頭数を39頭に増頭した。平成6年にテンサイ栽培を中止し、酪農専業に移行した。平成13年に後継者の就農もあり、牛舎を増設して53頭規模に拡大した。</p> <p>近年も、圃場作業の多くをコントラクター組織に委託し、省力化を進めている。また毎年5、6haの草地更新や貝殻石灰の投入による酸度矯正を行い、放牧主体の飼養管理を実践して粗飼料中心の低コスト経営に取り組んでいる。</p> <p>2 長期にわたり農協や共済組合の監事等を務め地域農業の振興に貢献した。昭和48年以降、指導農業士として研修生を受け入れ指導した。全道、全国の指導農業士会役員を歴任し、地域・中央とのパイプ役として活躍した。担い手育成に関しては、就農者の手本となるだけでなく、就農前後の悩みや希望等を積極的に聞き入れ、就農希望者への的確なアドバイス等を行った。</p> <p>近年も、農協監事や大日本農会北海道支会副支会長として、地域農業の振興に貢献するとともに、道指導農業士協会会長の経験を生かして道全体の指導農業士に対して助言活動を行っている。</p>

氏名	住所	経営部門	表彰事由
くげ げん いち 久家 源一 (76歳) 緑白綬有功章 平成19年度受章	茨城県 土浦市	花き部門 (法人)	<p>1 昭和35年に球根+普通作の経営に就農後、37年にグラジオラス切り花栽培を開始した。昭和40年代に、連作障害回避のため、冬期出荷できる枝物を導入してグラジオラスの面積を100aに拡大した。</p> <p>昭和54年に鉄骨ハウスを導入して、チューリップ、ユリ等を導入し、グラジオラス・アルストロメリア・チューリップ等による年間出荷体制確立で労力の年間雇用が可能となり、経営が安定した。以降グラジオラスの県育成品種を地域に先駆け導入して、普及の契機となった。</p> <p>近年も、チューリップから収益性の高いユリへ品目転換して栽培体系を工夫しながら収益安定に努め、平成25年には後継者の就農を契機に、品目を集約して収益性を高めるとともに、経営全体の無駄総点検を行って、生産コストの低減を実現している。産地の中で、若手農家の経営安定や品種更新、出荷市場の選定などにリーダーシップを発揮し、産地全体の発展に貢献している。グラジオラスでは、新たに遮光資材を導入して、夏期出荷の高品質化と生産拡大に努め、地域への普及を図っている。</p> <p>2 昭和31年頃から行われていたグラジオラスの球根養成栽培を、地域でいち早く切り花栽培へ転換し、切り花産地の育成に貢献した。昭和54年に地域に先駆けて鉄骨ハウスを導入し、アルストロメリア+グラジオラスの花き周年出荷体系確立に貢献した。昭和60年～平成14年の間、県農業経営士として県内農業者の経営改善や後継者育成に尽力した。</p> <p>近年も、県花き園芸協会会長としていばらき花フェスタや関東東海花の展覧会の開催に尽力するとともに、県産花きの生産振興、消費宣伝活動を行い、県全体の花き振興に多大な貢献をした。平成27年には、県・JAとともにグラジオラスの全国産地間連携を推進し、全国初となるグラジオラス産地交流会を開催した。</p> <p>平成28年からは(一社)日本花き生産協会会長に就任し、花き日持ち性向上実証事業の推進、フラワービズの推進、展覧会への花材提供等を行い、国産花きの生産振興・需要拡大に貢献している。</p>

## 緑白綬有功章（国内） 50名

（北海道・東北地域 11名）

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
佐々木雄三 (69歳)	北海道 虻田郡 真狩村	畑作・ 露地野菜作 複合経営 (法人)	<ol style="list-style-type: none"> <li>畑作物価格下落を受け野菜作との複合経営に転換。畑作は規模拡大し、初冬蒔き小麦を含め畑作4品による輪作体系を確立、土作り等により安定生産を実現。経営安定のため食用ユリ等の野菜を導入するとともに、ユリ種球のウイルスフリー化に取組み産地化に貢献。</li> <li>就農当時からグループ活動を行い、栽培技術の向上、新作物の導入等により地域農業を牽引。道指導農業士会理事として研修生受け入れ、交流活動など担い手育成に尽力。JA理事として広域合併等地域活動に貢献。</li> </ol>
池田邦雄 (65歳)	北海道 枝幸郡 浜頓別町	酪農経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>高泌乳牛群を確立後、ゆとりある経営を目指して海外で研修。帰国後、草地改良を行いペレニアルライグラスを導入し、徹底した放牧と季節分娩で生産性を上げる低投入・持続型酪農経営を実現。</li> <li>独自の放牧技術は、道内で持続型酪農のモデルと位置付けられ、多い年は年間1000人を超える視察を受け入れるなど、放牧酪農の普及発展に貢献。また地域資源を活かした町おこしに尽力するなど地域活性化でも貢献。</li> </ol>
岡山粕男 (66歳)	青森県 上北郡 東北町	野菜作 (ナガイモ、 ニンニク、 ダイコン) 経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>土づくり、輪作体系の確立、種苗供給体制の基礎となる優良種苗選抜ほ場の設置等により、ナガイモの良品質多収栽培を実現。ニンニク導入により作業の軽労化を実現。</li> <li>農協を中心とした産地作り、農業機械の共同利用の組織作りに貢献。県農業経営士等として、担い手の育成、家族経営協定締結等へ積極的に関わり、地域農業振興に貢献。</li> </ol>
松本榮 (66歳)	岩手県 岩手郡 岩手町	酪農経営 (法人)	<ol style="list-style-type: none"> <li>葉タバコ中心の複合経営から酪農専業に転換。フリーストールによる飼養管理とTMR（混合飼料）給与による合理的な飼養管理体系導入により、県内屈指の大規模酪農経営を実現。</li> <li>榮氏は、町認定農業者協議会会長を務め、耕畜連携等を推進。また地域の酪農研究会会長として、酪農技術の向上や経営体質強化を主導。良子氏は、県内初の女性農業委員会会長として、農村女性の活躍を促進。</li> </ol>
松本良子 (63歳)			

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
越戸俊男 (66歳)	岩手県 久慈市	菌床シイ タケ作・ 菌床製造 販売経営 (法人)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 菌床シイタケ栽培に取り組み、全国に先駆け菌床ブロック用チップ製造、菌床栽培の一貫体系を確立。菌床ブロック販売等経営の多角化を図り、全国有数の経営規模を実現。</li> <li>2 地域の生産者への良質な菌床ブロックの供給と栽培技術の指導により、菌床シイタケの産地形成に貢献。旅館経営を通して産地のPR、雇用創出、担い手育成・食育に貢献。</li> </ol>
佐々木郁郎 (61歳)	宮城県 加美郡 加美町	エノキタケ作 ・稲・大豆作 複合経営 (法人)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 所得の安定確保のためエノキタケを導入。地元農家やJAと連携し東北一の産地化を実現。稲作組合とエノキタケ組合を統合法人化し、営農体制・販売体制を強化。県等と協力し巨大胚米、飼料用米等に取り組み、飼料用米は単収932kgを実現。</li> <li>2 指導農業士等として研修生受け入れ、交流会の実施等担い手育成に尽力、グリーンツーリズムの礎を築く。担い手として地域の水田の4割を担う。</li> </ol>
石垣勝敏 (68歳)	秋田県 大館市	果樹作・農 産加工・民宿 等複合経営 (個人・法人)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ナシ・リンゴの新品種導入・改植更新、わい化栽培等高品質・安定多収栽培技術を確立するとともに、農産加工・民宿等により安定経営を確立。一子氏は加工・民宿実践や体験・食堂・直売場設立運営等に貢献。</li> <li>2 指導農業士等として食農教育や新規就農者等への研修等担い手育成に尽力。JA果樹部会長等として販売の強化、共同集出荷体制の整備等産地作りに貢献。女性グループ活動等を通じ産地の加工・販売対策、PR活動等に貢献。</li> </ol>
石垣一子 (63歳)			
斎藤正樹 (65歳)	秋田県 にかほ市	花き作・稲作 複合経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 圃場整備による稲作の軽労化を契機に小ギク等花き作を導入・拡大。夫妻で稲作、花きを部門分担し、花きの規模拡大・機械化による効率化を推進。苗生産を請け負う等大規模園芸団地を主導し地域農業を牽引。</li> <li>2 夫婦とも指導農業士として研修生受け入れ、雇用就農等担い手育成に貢献。とし子氏は女性グループ会長として栽培技術の向上や機械共同購入を図り、女性が担当する複合部門として花きを導入・普及し、経営参画を牽引。</li> </ol>
斎藤とし子 (64歳)			

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
なかのとしあき 仲野利昭 (70歳)	山形県 西村山郡 河北町	肉用牛肥育・ 果樹作・稲作 ・加工等 複合経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 需要に対応し肉用牛は、ホルスタイン肥育から黒毛和種へ、オウトウ等は加工用から生食用へ転換。反射シート導入など栽培技術を改善するとともに、オーナー制の導入、加工・直売等先駆的な経営を実践。</li> <li>2 新しい部門に取り組み安定的な家族複合経営モデルを確立する等地域農業を牽引。指導農業士として消費者等への食農教育、各種研修生を受け入れて担い手育成に貢献。</li> </ol>
あそせんいち 阿曾千一 (65歳)	山形県 酒田市	稲・ソバ作 経営 (法人)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 中山間地域の立地条件を活かし稲・ソバ作等を行う集落営農組織を株式会社化し地域農業を牽引。機械化を進め、直播を導入するとともに、防除の外部委託等により省力化、経営の効率化を実践。</li> <li>2 中山間地域の担い手として農地と集落を維持する集落営農法人の設立・経営に貢献。WCS用稲・堆肥の交換等耕畜連携モデルの確立・普及に貢献。障害者に就労の場を提供、地域の除雪の受託等地域活性化に貢献。</li> </ol>
ほしただかつ 星忠勝 (67歳)	福島県 南会津郡 下郷町	ソバ作・稲 作・果樹作 等複合経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 葉タバコに代え、山間高冷地を活かしたリンゴ、ソバ等を導入、直売を実践。ソバは組合を設立、耕作放棄地を活用して拡大。調理師免許や商標を取得し製麺製造・食堂運営等モデル的複合経営を実践。</li> <li>2 指導農業士として研修生受け入れ、食農教育等担い手育成に貢献。地域特性を活かしたソバ作り、イベント開催等地域に先駆けた6次産業化を實踐、山間高冷地の耕作放棄地の解消等地域活性化に貢献。</li> </ol>

(関東地域 10名)

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
はせがわただし 長谷川 正 (76歳)	茨城県 石岡市	施設切り花 (チューリップ) 専作経営	1 アイスクューリップとコンテナ栽培の導入による作期拡大、ロータリーベンチの導入と水耕栽培技術の確立による施設有効活用により、全国有数のチューリップ大規模栽培経営を実現。 2 地域の花き組合長を長年務め栽培技術の確立、産地づくりに貢献。県農業経営士、県花き園芸協会会長等を務め、県内外の研修の受け入れ、担い手の育成、花き産業振興に貢献。
わきかつえい 和氣 勝英 (66歳)	栃木県 塩谷郡 塩谷町	稲・麦・ 大豆作経営 (法人)	1 地域や消費者のニーズに応え稲・麦・大豆等大規模法人経営を展開、特別栽培米・循環型農業を行い、契約栽培・直接販売を推進。餅加工、消費者交流等による収益性確保、雇用創出などモデル的経営を実現。 2 離農農地等の受け皿として地域の信頼を得て規模拡大し、環境保全型農業、大豆耕耘同時畝立て播種技術の普及等地域農業に貢献。農業大学校生の研修受け入れ、雇用等担い手育成、都市農村交流や環境保全活動に尽力。
さかもとやすはる 坂本 安靖 (63歳)	栃木県 真岡市	養豚経営	1 水稻中心の経営から養豚一貫経営に移行。早くからハイブリッド豚を導入して、高度な飼養管理技術を確立。地域に先駆けて、パソコン利用による繁殖管理と経営管理を導入。近年は飼料用米を利用しブランド化に取り組む。 2 先進技術の導入と合理的な養豚経営の実践により、県内の畜産経営の模範として畜産振興に貢献。県農業士会会長等として、農業者組織の活性化、後継者育成、地域農業の振興に貢献。
はらだやすし 原田 康 (78歳)	群馬県 高崎市	コンニャク作 ・農産加工 経営	1 養蚕からコンニャク作に転換、いち早く収量・品質、種芋貯蔵効率の高い新品種に更新。JA生産部会長等として県試験に協力し栽培技術確立・普及に尽力。カツ子氏はコンニャク加工・直売等経営改善に尽力。 2 研究部会長等としてコンニャク栽培技術の研修等を行い、新品種の普及、栽培技術等の向上に尽力。道の駅設立、新規就農者を受け入れ等担い手育成に貢献。カツ子氏は生活研究グループ代表として特産品開発等に貢献。
はらだかつこ 原田 カツ子 (73歳)			



氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
よしの 吉野 せい いち 誠一 (71歳)	埼玉県 日高市	茶業経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 消費者に好まれ、耐寒性等の緑茶を多品種栽培し、オリジナルな品種も創出して個性的茶作りを実践。紅茶・ウーロン茶も海外技術を導入して品質向上を図り、品種特性や製茶法にこだわって製造、対面販売し安定的経営を実現。</li> <li>2 県育成品種試験に協力し、他に先駆けて導入、県内普及に貢献。国産紅茶を始め多品種の狭山茶をホームページ、新聞等活用し産地のPR、情報発信に尽力。発生予察事業への協力や後継者育成、小学生等の食農教育に貢献。</li> </ol>
の じま げん じ 野島 源治 (68歳)	東京都 八王子市	酪農経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 都内有数の経営規模と、高度技術を有する酪農経営を確立。優良受精卵の移植により乳牛の能力向上を図り、1頭当たり乳量1万kgを達成。地域の遊休農地を活用し、粗飼料を積極生産。</li> <li>2 源治氏は、酪農協役員を務め、地域酪農経営の発展と若手育成に貢献。房子氏は、市内の酪農家女性自主研究グループの中心となって消費者との交流等を推進。</li> </ol>
の じま ふさ こ 野島 房子 (64歳)			
みや じ たか お 宮治 孝雄 (72歳)	神奈川県 藤沢市	植木専作 経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 イヌツゲの優良系統選抜や西洋カナメモチ、コニファー類等樹種の先駆的な導入、ポット栽培による多量生産技術の確立及び品目に応じた挿し木技術の改善により経営を安定化。</li> <li>2 地域の植木部会役員を歴任し、挿し木技術確立や新樹種導入により産地を安定化。地域のセリ市場運営で流通販売に貢献。県園芸協会役員として県全体の植木振興に貢献。</li> </ol>
あめ みや まさ あき 雨宮 正明 (68歳)	山梨県 甲州市	果樹作 (ブドウ・ オウトウ・ モモ・スモモ) 経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 建設業を経て父親から果樹農業を継承。オウトウ、モモ、ナシの加温ハウス栽培導入により収益性の高い経営へ転換。品目・品種の見直し、規模拡大で収益性の高い経営を確立。</li> <li>2 地域の雨除け施設建設に貢献。県果樹園芸会理事副会長等として新品種の導入・普及、栽培技術向上に取り組み、県内の高品質果実の安定生産、所得向上、経営発展に貢献。</li> </ol>

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
<small>かみじょう しん た ろう</small> 上條 信太郎 (67歳)	長野県 松本市	切り花(トル コギキョウ) 専作経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 小売店と連携した市場調査、独自の仕立てと品質管理徹底で既存市場にない大輪系トルコギキョウを商品化、厳格な出荷規格でブランド維持を図る等の戦略で先導的経営を確立。</li> <li>2 県内生産者に働きかけ、標高差を生かした長期生産出荷体制を構築し、国内有数の高品質切り花出荷グループに発展させた。国内外の研修生を受入れ、後進の担い手育成に貢献。</li> </ol>
<small>わだ まさ み</small> 和田 正美 (73歳)	静岡県 浜松市	肉用牛肥育 単一経営 (法人)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 全国的なミカンの産地で、肉用牛肥育という新たな分野を開拓して規模拡大等を進め、「三ヶ日牛」ブランドを確立。畜産廃棄物のたい肥化で、循環型農業を実践。</li> <li>2 農協役員として指導体制や販売体制の強化に取り組み、地域農家の所得安定化等に貢献。また県経済連会長等として指導力を発揮し、県産農産物の販売力強化や経済事業の改革推進に尽力。</li> </ol>

(北陸地域 5名)

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
あいざわ せいいち 相澤 誠一 (65歳)	新潟県 上越市	野菜作 (野菜苗中心) 経営 (法人)	1 野菜苗生産、販売を基幹とし、生食用ブドウの生産、直売や、直売所向けの野菜生産とともに、新たな特産野菜の生産に取り組むなど多品目かつ収益性の高い園芸経営を実現。 2 J A直売所出荷者のリーダーとして地産地消推進に尽力するとともに、県指導農業士会園芸部長等として地域農業の活性化と研修生の受け入れ、担い手の確保育成に貢献。
いとう ひろし 伊藤 博 (68歳)	新潟県 五泉市	稲作・野菜 作・加工複合 経営	1 野菜等を複合部門として導入。稲作の規模拡大を図りつつ、露地野菜、次いで施設野菜、直売・加工に取組み売上げを拡大。家族協定を結び部門分担し、総菜加工等を強化するとともに市内のスーパー等でインショップを開設し経営確立。 2 地区指導農業士会長、ふみい氏は県団体会長等として農業大学校生等の研修等人材育成や県農業施策への提言に尽力。県内で先駆けて家族経営協定の締結、直売等に取組み経営モデル確立や女性の経営・社会参画の推進に貢献。
いとう ふみい 伊藤 ふみい (68歳)			
わだ としのぶ 和田 俊信 (65歳)	富山県 小矢部市	ハトムギ作・ ハトムギ若葉 加工・稲作 複合経営	1 J A等と連携しハトムギの栽培技術を確立・普及、全国平均の2倍の単収を実現し産地拡大に貢献。担い手として農地集積しハトムギ大規模経営を実現。有機米、有機ハトムギ若葉一次加工等を行い通年雇用経営を確立。 2 ハトムギ生産組合初代組合長等として、栽培技術の確立、コンバイン刈取部の改良に務め日本一の産地作りに貢献。市農業委員として農地集積、耕作放棄地の解消、地域の雇用を創出する等地域農業の発展に貢献。
きわた まさゆき 喜綿 雅之 (69歳)	石川県 かほく市	野菜作(露地 野菜・加工) 経営 (個人・法人)	1 砂丘地におけるスイカ、ダイコンの露地野菜専作経営を實踐し、これにカンショを導入し2年3作栽培体系を確立。栽培技術改善、系統の育成等によりカンショ栽培を安定化。 2 生産組合の設立や集出荷施設等の整備に尽力し、スイカ、ダイコンの産地化に貢献。カンショのブランド化推進、地域特産品育成、食育等により地域農業の発展に貢献。

氏 名	住 所	経営の特徴	表 彰 事 由
たなかとうえもん 田中藤右エ門 (73歳)	福井県 福井市	稲・麦・大豆 ・ソバ作経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 集落転作組合を組合長として設立・推進。組合解散後も地域の信頼を得て農地集積・規模拡大し、機械整備技術を習得しつつ大規模稲・麦・大豆・ソバ経営を実現。生産調整の初期に2年3作体系を導入、地域に波及。</li> <li>2 担い手として新技術導入、土地基盤整備を推進し、大規模水田農業のモデルとなった。技術改善・経営合理化等を図る先進的経営者の中核として地域農業を牽引。指導農業士として若者雇用等により担い手育成に貢献。</li> </ol>

(東海地域 3名)

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
北村 安幸 きたむら やすゆき (59歳)	岐阜県 安八郡 神戸町	施設野菜作 (コマツナ 等) 経営 (個人・法人)	1 ナス栽培から市場性の高いコマツナの周年栽培に転換し、年7作の高品質・安定生産を実現。空きハウスや耕作放棄地を活用し、若手農業者で法人を設立し、コマツナを栽培。 2 JA部会長として、地域のコマツナの生産者の拡大、周年栽培技術の普及及びGAPの取組みに尽力し、産地育成に貢献。県指導農業士として、担い手育成、地域農業振興にへ貢献。
鈴木 達司 すずき たつし (68歳)	愛知県 田原市	鉢物花き作 ・露地野菜作 複合経営	1 高圧ナトリウム灯利用によるマダガスカルジャスミン早期開花技術を導入し、研究を重ね、日本で初めて実用化。バスケット装飾等新商品開発で産地化に貢献。ヒートポンプによる省エネ化、鉢物と観葉植物を組み合わせた生産出荷体制を確立。遊休地等を活用して露地野菜を導入。 2 田原農業懇話会を結成し、初代会長として地域農業の支援活動を行い、ヒートポンプ、LED等新技術の普及に尽力。中・高生への講演、国内外の大学生等の農業体験の受け入れによる農業理解促進と担い手育成に貢献。
松葉 里美 まつば さとみ (59歳)	三重県 いなべ市	養豚・加工 販売経営 (法人)	1 省力化の機械導入や堆肥・浄化処理施設の整備、法人化と雇用拡大等により、肥育3,000頭飼養の経営を実現。敷地内に精肉・加工施設を整備し、インターネットや直売所で販売。 2 女性経営者の視点で、休憩室の配置等女性の働きやすい職場づくりを実現。農村女性アドバイザー、県指導農業士として地域農業の発展に貢献するとともに、県域の畜産女性組織を立ち上げ、農村女性の活躍機会の増大に貢献。

(近畿地域 6名)

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
村井 弘 ひらい ひろむ (77歳)	滋賀県 甲賀市	茶業経営	<ol style="list-style-type: none"><li>1 中山間地で茶園拡大、「やぶきた」へ転換、県実証圃試験に協力し防霜ファンをいち早く導入し品質・収量の安定化、販売単価向上等を実現。堆肥投入等土作り、緩効性肥料投入、適期防除等により環境負荷軽減に尽力。</li><li>2 晩霜常襲地帯で他に先駆けて集团的に防霜ファンを通常台数の2倍導入し、地域茶業の安定化に貢献。町茶業協会会長、農業委員等として、出品茶製造技術の研鑽や地域の茶生産条件の改善等、茶業を中心として地域農業発展に貢献。</li></ol>
原田 雅之 はらだ まさゆき (77歳)	京都府 亀岡市	肉用牛肥育 単一経営 (法人)	<ol style="list-style-type: none"><li>1 水稻、和牛肥育、シイタケ栽培の複合経営から、肉用牛肥育専業に転換し、200頭規模に経営を拡大。肥育牛のストレス低減に資する飼養管理の改善を図り、高品質牛肉の生産技術を確立。</li><li>2 農協預託牛部会の中心的存在として、地域の牛肉生産の高品質化や肥育技術の平準化に尽力し、地域ブランド構築に貢献。地域の土作りのため、堆肥化施設の整備を進めながら、地域内の耕畜連携に貢献。</li></ol>
小原 眞一郎 おはらしんいちろう (67歳)	大阪府 高槻市	花壇苗 専作経営	<ol style="list-style-type: none"><li>1 ポットイングマシン等最先端苗生産技術の導入、市場調査、研究会による情報交換等を積極的に実施。技術力を評価された契約栽培により経営を安定させるなど、先進的な花壇苗経営を展開。</li><li>2 地域の生産農家組織のリーダーを務め花壇苗産地の振興を図るとともに、社会福祉や学校教育、農業祭、朝市、青年農業者組織に積極的に参画し、地域振興や担い手育成に貢献。</li></ol>
赤松 清助 あかまつ せいすけ (65歳)	兵庫県 洲本市	酪農経営	<ol style="list-style-type: none"><li>1 県下に先駆け酪農ヘルパー利用組合の設立に尽力し、ゆとりある酪農経営モデルを確立。牛群改良に積極的に取り組み、1頭当たり乳量1万kgを達成。地域堆肥センターを設立し、野菜農家との循環型農業を確立。</li><li>2 酪農協合併に尽力し、地域の酪農振興と地域産牛乳のブランド確立に貢献。県農業経営士会会長等を歴任し、研修生の積極的受け入れなど後継者育成に尽力。</li></ol>

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
うえつじ はつえ 上辻 八江 (68歳)	奈良県 五條市	露地果樹・ 施設果樹作 (カキ中心) 経営 (個人・法人)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 国営事業の造成団地に入植し、経営規模を拡大。ハウスカキの導入による収益向上、園内道の整備や機械化による省力化、県が開発した大苗改植技術を実践し、経営を改善。</li> <li>2 地域のハウスカキ組合内の女性農業者のリーダーとして、カキの販売促進に貢献。県指導農業士等として、研修受け入れ、技術習得など担い手育成、農村女性の地位向上等に貢献。</li> </ol>
さはら よういち 佐原 洋一 (67歳)	和歌山県 有田市	カンキツ 専作経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域に先駆けてマルチ栽培等先進技術の導入、優良品種への更新を進め、高品質ミカンの生産拡大を実現。傾斜地園での防除・運搬作業の省力化、労力分散に配慮した果樹経営を確立。</li> <li>2 先駆的に導入したマルドリ方式により「有田みかん」の高品質安定生産が図られ、経営改善モデルとして地域農業発展に貢献。県指導農業士等として地域活性化、後継者育成等に尽力。</li> </ol>

(中国四国地域 5名)

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
なかやま きよとし 仲山 潔俊 (72歳)	岡山県 高梁市	施設トマト ・ブドウ作等 複合経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 葉タバコ等から施設トマト・ブドウ作等経営へ。トマトは養液土耕・花粉媒介昆虫を利用した雨よけ栽培や新品種を導入し高品質生産を実現。「シャインマスカット」の簡易被覆栽培等により中山間地で高収益経営を実現。</li> <li>2 J A トマト部会長として品種選定、マルハナバチ実証等に取り組み高単収等実現。県農業士として研修生受け入れ等人材育成、市農業委員会会長として荒廃農地抑制に貢献。</li> </ol>
たかしば としのり 高柴 順紀 (74歳)	広島県 庄原市	切り花(キク) 専作経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 水稻・畜産地域でキク栽培に初めて取り組み、露地の夏ギクで需要期の安定生産・出荷のため電照栽培の導入、曲り防止ネットや濡れ花の乾燥機の開発等の独自技術で課題を解決。</li> <li>2 長きにわたる地域のキクの組合長として、実需ニーズに即座に応える全国トップクラスの地域ブランドを確立。経験の浅い生産者には自らの技術資料で指導するなど後継者育成に貢献。</li> </ol>
うえき ひろみ 植木 悠文 (70歳)	徳島県 那賀郡 那賀町	花き作経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 中山間地に加温ハウスを導入し、フリージアの施設栽培を定着させる。以後、土壌分析に基づく土づくりを行い、シャクヤク、オモト等で地域に合った多様な品種の導入等により周年出荷体制を確立。</li> <li>2 オモト、シャクヤク、フリージア等のJ A 部会長、地域の花き組合長を務め、市場の要望に対応した産地づくりに貢献。県の農業チューターとして新規就農者をマンツーマン指導。</li> </ol>
しまだ みつおき 島田 満沖 (68歳)	香川県 善通寺市	キウイ フルーツ 専作経営 (法人)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 県育成のキウイフルーツ品種に全面転換。生育・管理の記録、果実追熟出荷により高品質・安定生産体系を確立し、大規模法人経営を実現。高品質ブランドとしての地位を確立。</li> <li>2 遊休農地のキウイフルーツ園地化に尽力。県農業経営者協議会理事等として、地域・県域の農業振興と経営改善推進に貢献。新規就農者の研修受け入れ・農地取得支援など、新たな担い手育成に貢献。</li> </ol>



氏 名	住 所	経営の特徴	表 彰 事 由
<small>まぐち</small> 菊池 <small>のりやす</small> 教 泰 (69歳)	愛媛県 八幡浜市	カンキツ 専 作 経 営	1 カンキツの多品種栽培と規模拡大を図る中で、マルドリ方式の導入、園内道・作業道の設置等により高品質省力栽培を確立。耕作放棄地の園地化、加工品等のネット販売により経営を安定化。 2 園内道の設置等、生産基盤の整備が地域に波及し、高品質・安定多収益生産に貢献。JA共選長等としてブランドの確立による所得向上、カンキツの産地振興に貢献。

(九州・沖縄地域 9名)

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
とう 藤 とみ ゆき 富 幸 (66歳)	福岡県 福岡市	施設軟弱 野菜作・体験 農園経営	<ol style="list-style-type: none"><li>1 シュンギク等、軟弱野菜の施設栽培において、土作りや生育段階に応じた灌水技術等、高度な技術を組み合わせ、高品質・安定生産を確立。体験農園を開設し、経営を改善。</li><li>2 シュンギク在来種から選抜した葉先枯れの少ない系統の普及に努め、シュンギクの生産拡大に尽力。県指導農業士会長等として、後継者育成、新規就農希望者の支援に貢献。</li></ol>
みず た 水田 つよし 強 (64歳)	佐賀県 佐賀市	野菜作(施設 野菜・加工) 経営 (個人・法人)	<ol style="list-style-type: none"><li>1 稲作に加え野菜作を導入し、雨除けハウス栽培による高糖度の完熟トマトの生産技術、ハウレンソウの省力化、寒締めを生産技術を確立。野菜加工部門の合同会社設立、新商品開発等により販路拡大。</li><li>2 県農業士会長等として佐賀北部地域の地域おこしやグリーンツーリズムを通じた都市住民との交流促進や児童・生徒等との農業体験研修、若手農業者育成など地域活性化に貢献。</li></ol>
やつ なみ ひで とし 八 並 秀 敏 (70歳)	長崎県 佐世保市	温州ミカン 専作経営	<ol style="list-style-type: none"><li>1 シートマルチ栽培等で高品質化に取り組み、園地登録園制度導入によるブランド化を図り、高単価を実現。優良品種への改植、園内道整備、省力機械導入で、省力化栽培体系を確立。</li><li>2 J Aかんきつ部会長として、園地登録園制度の充実、生産基盤整備の推進、「させほ温州」への改植・普及拡大、省力機械導入等に取り組み、「西海みかん」のブランド化に貢献。</li></ol>
よし だ せい じ 吉 田 清 二 (71歳)	熊本県 阿蘇市	稲作経営	<ol style="list-style-type: none"><li>1 稲作の付加価値化のためJ A部会を設立、アイガモ農法等無農薬栽培技術を確立。特別表示米や自家製有機肥料を用いた無農薬栽培米をブランド化、マサ子氏が主に百貨店や直接販売を実践。</li><li>2 無農薬栽培の地域リーダーとして阿蘇地域の無農薬栽培米の産地作りを牽引。これまで地元産トマト等の加工事業や肉用牛肥育を展開し地域を牽引するとともに、地域の雇用や新規参入者の育成・定着に貢献。</li></ol>
よし だ ま さ こ 吉 田 マ サ 子 (72歳)			

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
那須 修一 (70歳)	熊本県 宇城市	採卵鶏経営 (法人)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 県養鶏業の先駆けとして、規模拡大による企業の経営を実践。HACCP方式を国内農場でいち早く導入し、徹底した農場環境や設備の衛生管理で付加価値の高い鶏卵生産を実現。</li> <li>2 地域内休耕田を活用した飼料用米生産・給与による循環型農業の確立と地産地消による地域活性化に貢献。県指導農業士、県農業法人協会会長として、人材育成に貢献。</li> </ol>
植木 三雄 (66歳)	大分県 竹田市	肉用牛繁殖 経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 親から移譲された複合経営を肉用牛繁殖経営へと転換。収益性の改善を図るとともに、省力化のための哺乳ロボットの導入や新技術の導入、ヘルパーの積極活用等により、県内最大規模のゆとりある肉用牛繁殖経営を確立。</li> <li>2 地域キャトルステーション（子牛の共同育成施設）やヘルパー組合の設立を先導し、地域の肉用牛産地拡大に貢献。県域の研修活動のリーダーとして、肉用牛生産農家の組織化や担い手育成に大きく貢献。</li> </ol>
横山 一徳 (69歳)	宮崎県 宮崎市	施設マンゴー 専作経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ハウスミカン栽培からマンゴー専作経営に転換。根域制限シートの埋設、施肥量調節等の綿密な栽培管理、早期摘果の徹底、IPM技術の導入等により高品質マンゴーの安定生産を実現。</li> <li>2 JAマンゴー部会長として組織体制の整備、共同販売の実現、栽培管理技術の確立、県のマンゴーのPR・産地育成等に貢献。農業委員等として担い手育成、地域農業の振興に尽力。</li> </ol>
木場 俊行 (66歳)	鹿児島県 いちき串木野市	施設イチゴ・ 稲作複合 経営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オイルショックを機に無加温施設イチゴ栽培を導入。いち早くポット育苗、株冷蔵技術導入による早出し出荷に取組み、省力化、子苗活着率向上を実現。県等とチリカブリダニ利用等によるIPM技術の確立・普及に尽力。</li> <li>2 県指導農業士会会長等として研修生受け入れ、認定農業者への誘導等農業理解の増進、担い手育成に貢献。由美子氏は県農業経営者クラブ副会長として県審議会等で積極的に政策提言。地区圃場整備、集落営農設立に尽力。</li> </ol>
木場 由美子 (64歳)			

氏 名	住 所	経営の特徴	表 彰 事 由
こうき 幸喜 (70歳)	沖縄県 中頭郡 読谷村	野 菜 作 ( 多 品 目 ) 経 営	1 先導的にミニトマトを導入し、安定生産を確立。その他、ゴーヤー、トマト、葉野菜類等、多品目栽培を行い、直売所向けに周年生産・出荷取り組み、経営の安定化を実現。 2 J A 部会長等を歴任し、県外への販路拡大、地域の農業生産基盤の構築、農業技術の普及、農地の流動化に努める等、地域リーダーとして、担い手育成や地域農業の発展に貢献。

## 緑白綬有功章（国外） 1名

（北米・南加支会 1名）

氏名	住所	経営の特徴	表彰事由
<small>たなか</small> 田中 グレン (60歳)	Lake Forest CA, USA	野菜作経営	1957年米国生まれ。カリフォルニア州立工科大学ポモナ校農学部卒業。 広島県出身の祖父田中てるお氏が1940年にカリフォルニアに移住し、田中農園を設立した。三代目のグレン氏は約30エーカー（約12ha）の農園で、イチゴ、トウモロコシ、スイカ、カボチャ等の野菜類を栽培し、販売している。従業員は30名で、収穫期等には50名のパートを雇用。小中学生を農場に招待して、農業学習を推進している。 日系企業のイベントに協力し、多くの日系人等をイチゴ摘みやカボチャ収穫体験に招待している。また、毎年6月に農場を一般人に開放しているが、東日本大震災後、入場者の参加費用を大震災の被災者や被災農家への寄付に当てている。

## 農業改良普及功労者

(一般社団法人 全国農業改良普及支援協会推薦)

### 緑白綬有功章 (国内) 4名

氏名	住所	表彰事由
おいかわ ちとみ 及川 千富 (70歳)	岩手県 北上市	宮古農業改良普及所を振り出しに、平成8年に専門技術員、平成18年に一関農業普及センター所長として、退職するまでの37年間、生活改善グループの組織化・育成支援、家計運営能力の向上、地域食文化の伝承や発信による起業家活動の推進など、一貫して農村女性を対象とした活動に尽力。退職後は、豊富な経験・専門知識を活かし、農業改良普及センターのパートナーとなって女性起業支援などの農業支援活動に寄与している。
たけうち ひろお 竹内 洋夫 (72歳)	長野県 長野市	長年にわたり、普及事業一筋に取り組み、昭和60年ごろ、専門技術員として飼料計算ソフトを開発し、畜産農家指導にパソコンを導入した。平成8年には長野県普及学会設立に向け尽力し、平成15～16年には普及センター所長として、「環境にやさしい農業」を推進し、集団取得でエコファーマー400名以上を増加させた。退職後は、全国の各種委員等を歴任し、全国の普及活動を支援し、普及職員の資質向上に多大な貢献を残している。
たねもと ひろし 種本 博 (68歳)	石川県 かほく市	農業改良普及員、専門技術員、試験場研究員の立場から、一貫して農業経営者の経営発展に向けた支援活動を精力的に行うとともに、経営感覚に優れた普及員の育成に尽力した。また、平成15～16年、農業改良助長法の改正の大きな転換期にあって、全国農業改良普及職員協議会の会長を務め、普及事業の改革・維持に尽力した。退職後は、各種検討会の座長や委員を務めるなど、全国段階で普及活動の発展に貢献している。
さなだ ひろみち 真田 弘通 (73歳)	福岡県 福津市	一貫して農業普及事業に携わり、畜産担当普及員として技術指導に加え、農家台帳整備と調査・分析による畜産コンサルティング活動、コンピューターによる普及業務のシステム化の推進に尽力。また、専門技術員として常に普及対象や評価を意識した普及活動の体制・方法の刷新に取り組む。退職後は、NPO法人「草の根協働福岡」に理事として設立当初から参画し、ベトナム等の農業指導を中心に活動を続けている。

## 農業技術開発功労者

(公益社団法人 農林水産・食品産業技術振興協会推薦)

### 緑白綬有功章 (国内) 1名

氏名	住所	表彰事由
ふかや とみお 深谷 富夫 (68歳)	秋田県 秋田市	イネ箱苗のいもち病発生状況調査から、育苗期防除の重要性を見だし、効果が高い育苗期防除剤の選定、イネ残さの水田周辺への持ち込みなど伝染源の排除とともに、育苗期防除を基幹として、秋田県のみならず全国のいもち病防除に応用できる新たな減農薬防除技術の開発・普及に貢献した。

元秋田県農林水産技術センター  
農業試験場 主席研究員 (兼)  
生産環境部長

平成22年度(第66回) 農業技術  
功労者表彰受賞

### 名誉賞状 (グループ) (国内) 1団体

しきしま せい 敷島製パン かぶしきがいしゃ 株式会社	愛知県 名古屋市	北海道での栽培に適した超強力秋まき小麦「ゆめちから」はタンパク質含量が極めて高く、この特異な形質に着目して、国産中力小麦とのブレンドの最適化によって、輸入強力小麦と同等以上の加工適性とパン品質を得ることに成功した。「ゆめちから」を使ったパン製品は26種類、販売金額は100億円に達し、国産パン用小麦の新たな市場拡大に大きく貢献した。
--------------------------------------	-------------	--

平成26年度 (第15回) 民間部門  
農林水産研究開発功績者表彰  
(農林水産省農林水産技術会議会長賞)

代表

くらみつ まさとも  
藏満 正朋  
(50歳)

いけい と さとる  
池井戸 悟  
(45歳)

かとう しんすけ  
加藤 信介  
(40歳)

かめむら かつや  
亀村 勝也  
(37歳)

なかつじ よういち  
中辻 洋一  
(37歳)

## 本 会 功 勞 者

### 紫白綬有功章（国内） 3名

氏 名	住 所	表 彰 事 由
岸 康彦 （80歳）	千葉県 柏市	本会に対する功績特に顕著なるを認め頭書の有功章を贈りその功勞を表彰（業務活動推進）
八木 宏典 （73歳）	群馬県 安中市	本会に対する功績特に顕著なるを認め頭書の有功章を贈りその功勞を表彰（業務活動推進）
進士 五十八 （73歳）	神奈川県 大和市	本会に対する功績特に顕著なるを認め頭書の有功章を贈りその功勞を表彰（業務活動推進）

### 紅白綬有功章（国内） 5名

氏 名	住 所	表 彰 事 由
阿部 修 （76歳）	神奈川県 横浜市	本会に対する功績顕著なるを認め頭書の有功章を贈りその功勞を表彰（業務活動推進）
鈴木 建夫 （74歳）	宮城県 仙台市	本会に対する功績顕著なるを認め頭書の有功章を贈りその功勞を表彰（業務活動推進）
小高 良彦 （74歳）	千葉県 浦安市	本会に対する功績顕著なるを認め頭書の有功章を贈りその功勞を表彰（業務活動推進）
岩元 睦夫 （74歳）	茨城県 土浦市	本会に対する功績顕著なるを認め頭書の有功章を贈りその功勞を表彰（業務活動推進）
石塚 虎雄 （73歳）	山形県 長井市	本会に対する功績顕著なるを認め頭書の有功章を贈りその功勞を表彰（業務及び支会活動推進）



## 農事功労者経営類型別一覧

区分	部門	都道府県	市町村	氏名	経営の特徴	掲載頁
紫白綬	畜産	北海道	紋別市	森脇 道成		2
紫白綬	花き	茨城県	土浦市	久家 源一		3
緑白綬	農産・特産	山形県	酒田市	阿曾 千一	稲・ソバ作経営	6
緑白綬	農産・特産	栃木県	塩谷町	和氣 勝英	稲・麦・大豆作経営	7
緑白綬	農産・特産	群馬県	高崎市	原田 康・カツ子	コンニャク作・農産加工経営	7
緑白綬	農産・特産	埼玉県	日高市	吉野 誠一	茶業経営	8
緑白綬	農産・特産	福井県	福井市	田中 藤右エ門	稲・麦・大豆・ソバ作経営	11
緑白綬	農産・特産	滋賀県	甲賀市	村井 弘	茶業経営	13
緑白綬	農産・特産	熊本県	阿蘇市	吉田 清二・マサ子	稲作経営	17
緑白綬	野菜	青森県	東北町	岡山 柏男	野菜作（ナガイモ・ニンニク・ダイコン）経営	4
緑白綬	野菜	岩手県	久慈市	越戸 俊男	菌床シイタケ作・菌床製造販売経営	5
緑白綬	野菜	新潟県	上越市	相澤 誠一	野菜作（野菜苗中心）経営	10
緑白綬	野菜	石川県	かほく市	喜綿 雅之	野菜作（露地野菜・加工）経営	10
緑白綬	野菜	岐阜県	神戸町	北村 安幸	施設野菜作（コマツナ等）経営	12
緑白綬	野菜	福岡県	福岡市	藤 富幸	施設軟弱野菜作・体験農園経営	17
緑白綬	野菜	佐賀県	佐賀市	水田 強	野菜作（施設野菜・加工）経営	17
緑白綬	野菜	沖縄県	読谷村	幸喜 文隆	野菜作（多品目）経営	19
緑白綬	果樹	山梨県	甲州市	雨宮 正明	果樹作（ブドウ、オウトウ、モモ、スモモ）経営	8
緑白綬	果樹	奈良県	五條市	上辻 八江	露地果樹・施設果樹作（カキ中心）経営	14
緑白綬	果樹	和歌山県	有田市	佐原 洋一	カンキツ専作経営	14
緑白綬	果樹	香川県	善通寺市	島田 満沖	キウイフルーツ専作経営	15
緑白綬	果樹	愛媛県	八幡浜市	菊池 教泰	カンキツ専作経営	16
緑白綬	果樹	長崎県	佐世保市	八並 秀敏	温州ミカン専作経営	17
緑白綬	果樹	宮崎県	宮崎市	横山 一徳	施設マンゴー専作経営	18

区分	部門	都道府県	市町村	氏名	経営の特徴	掲載頁
緑白綬	花き	茨城県	石岡市	長谷川 正	施設切花(チューリップ)専作経営	7
緑白綬	花き	神奈川県	藤沢市	宮治 孝雄	植木専作経営	8
緑白綬	花き	長野県	松本市	上條 信太郎	切花(トルコギキョウ)専作経営	9
緑白綬	花き	大阪府	高槻市	小原 眞一郎	花壇苗専作経営	13
緑白綬	花き	広島県	庄原市	高柴 順紀	切花(キク)専作経営	15
緑白綬	花き	徳島県	那賀町	植木 悠文	花き作経営	15
緑白綬	畜産	北海道	浜頓別町	池田 邦雄	酪農経営	4
緑白綬	畜産	岩手県	岩手町	松本 榮・良子	酪農経営	4
緑白綬	畜産	栃木県	真岡市	坂本 安靖	養豚経営	7
緑白綬	畜産	東京都	八王子市	野島 源治・房子	酪農経営	8
緑白綬	畜産	静岡県	浜松市	和田 正美	肉用牛肥育単一経営	9
緑白綬	畜産	三重県	いなべ市	松葉 里美	養豚繁殖肥育一貫・加工販売経営	12
緑白綬	畜産	京都府	亀岡市	原田 雅之	肉用牛肥育単一経営	13
緑白綬	畜産	兵庫県	洲本市	赤松 清助	酪農経営	13
緑白綬	畜産	熊本県	宇城市	那須 修一	採卵鶏経営	18
緑白綬	畜産	大分県	竹田市	植木 三雄	肉用牛繁殖経営	18
緑白綬	複合	北海道	真狩村	佐々木 雄三	畑作・露地野菜作複合経営	4
緑白綬	複合	宮城県	加美町	佐々木 郁郎	エノキタケ作・稲・大豆作複合経営	5
緑白綬	複合	秋田県	大館市	石垣 勝敏・一子	果樹作・農産加工・民宿等複合経営	5
緑白綬	複合	秋田県	にかほ市	斎藤 正樹・とし子	花き作・稲作複合経営	5
緑白綬	複合	山形県	河北町	仲野 利昭	肉用牛肥育・果樹作・稲作・加工等複合経営	6
緑白綬	複合	福島県	下郷町	星 忠勝	ソバ作・トマト作・稲作・果樹作複合経営	6
緑白綬	複合	新潟県	五泉市	伊藤 博・ふみい	稲作・野菜作・加工複合経営	10
緑白綬	複合	富山県	小矢部市	和田 俊信	ハトムギ作・ハトムギ若葉加工・稲作複合経営	10
緑白綬	複合	愛知県	田原市	鈴木 達司	鉢物花き作・露地野菜作複合経営	12
緑白綬	複合	岡山県	高梁市	仲山 潔俊	施設トマト・ブドウ作等複合経営	15
緑白綬	複合	鹿児島県	いちき串木野市	木場 俊行・由美子	施設イチゴ・稲作複合経営	18

# 公益社団法人 大日本農会

〒107-0052 東京都港区赤坂1丁目9番13号

三会堂ビル7階

電話 03(3584)6739番

FAX 03(3584)0573番

<http://www.dainihon-noukai.jp/>

E-mail: [noukai@dainihon-noukai.jp](mailto:noukai@dainihon-noukai.jp)